

別記様式第2号の1

研究計画概要書

研究課題名		看護学生の防災に関する意識と行動調査
研究組織	研究代表者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 臨床看護学講座 教授 池松 裕子
	研究責任者(本学内) (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 臨床看護学講座 教授 池松 裕子
	研究分担者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 4年 学生 関野 朱梨
	共同研究者 (所属・職名・氏名)	なし
	研究事務局 (機関の名称・住所・連絡先)	名古屋大学医学部保健学科 〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20 TEL/FAX 052-719-1567
研究の背景・意義		日本は自然災害が起きやすい条件にあり、医療職者は災害に備えて知識・技術を身につけておく必要がある。同時に、自身の防災対策を十分に行う必要がある。しかし、看護学生の防災に関する意識と行動についての先行研究では、看護学生は防災についての備えの知識は持っているが、行動に移せていない人が多いことが明らかになっている。そこで本研究では、どの程度災害に備えた行動をとれているか、行動にとれていない人の原因は何かを明らかにすることによって、行動を具体的にするための対策を考えるのに役立つと考えている。
研究の目的		本研究の目的は、看護学生の防災に関する意識と行動の現状を明らかにすることである。
研究対象者の主な選択基準		名古屋大学医学部保健学科の看護学生 1～3年生の約240名 本研究では、将来災害看護に携わる可能性のある看護職者を目指す学生の防災意識を知る必要があるため、看護学生を選定した。
研究方法（多施設共同研究の場合は、本学の役割・目標症例数も記載）		無記名自記式の自作アンケート調査を行う。内容は、対象者の属性・防災意識・実際に行っている行動と行っていない理由等である。 授業担当教員の許可を得て、各学年の授業後に研究分担者が対象者に説明書と質問紙を配布し、本研究の目的と意義、研究協力の理由および方法、期間、開示について説明する。

	その後質問紙に回答していただき、質問紙はその場で回収する。
上記のうち研究目的で対象者に実施する事項	<input type="checkbox"/> 情報収集 <input type="checkbox"/> 試料収集 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他
軽微な侵襲を超える侵襲を伴う研究かどうか	<input type="checkbox"/> 伴う (侵襲の内容：) <input checked="" type="checkbox"/> 伴わない
研究期間	生命倫理審査委員会承認後から平成 31 年 3 月 31 日
インフォームド・コンセントの方法(説明を行う者等)	<input checked="" type="checkbox"/> 行う (方法：研究分担者が本研究の目的と意義、研究協力の理由および方法、期間、開示について明記した説明書を配布して、口頭で説明する。また、質問紙の提出をもって同意とみなす。 未成年の対象者については、本概要書を HP に掲載し、学生の参加に同意できない親権者は 052-719-1567 (研究責任者) にその旨を伝えることができる。) <input type="checkbox"/> 行わない (その理由：)
個人情報の管理体制(個人情報管理者、連結表の管理体制、匿名化の方法等)	個人情報管理者：池松 裕子 匿名化の方法：アンケートは無記名式とする。 連結表の管理責任者・保管場所：該当せず 保管方法： 該当せず
研究で収集した試料・情報・同意書の保管場所、研究終了後の試料の取扱い	保管場所： 回収した質問紙及びデータは池松研究室(南館 211 号)内で保管し、本研究以外で使用しない。また、研究で得られたデータは、USB にパスワードをかけて保存し、パスワードをかけた USB は大幸キャンパス本館 5 階の学生ロッカー室の鍵のかかるロッカーで保管する。なお、研究結果を卒論発表会や学会、専門雑誌などに発表する際は、個人が特定できるような情報は発表しない。 終了後の取り扱い： 池松研究室内の鍵のかかるキャビネット内で 5 年間保存のち破棄する。
効果安全性評価委員会 (委員の職名・氏名・審査間隔)	該当せず
被験者に重篤な有害事象が生じた場合の対処方法	該当せず